

各 位

北海道七飯町大中山 3・13、北斗市下添山遺跡の発掘調査のご案内

弘前大学人文社会科学部
北日本考古学研究センター
センター長 上條信彦

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さてこの度、弘前大学人文社会科学部日本考古学ゼミナール・北日本考古学研究センター（担当 上條信彦）では、下記の通り北海道七飯町大中山 3・13、北斗市下添山遺跡の発掘調査を実施いたします。函館平野における縄文時代晩期から続縄文への変化過程を稲作文化の影響の視点で検討することを目的に調査します。大中山 3 遺跡は、縄文時代晩期聖山式期、大中山 13 遺跡・下添山遺跡は続縄文時代の遺跡です。

なお、遺跡周辺は住宅地や畑地で入り口が分かりにくいというえ、周辺環境と安全に配慮する必要があるため、ご来跡の際には必ず下記連絡先までご一報いただきますようお願いいたします。

記

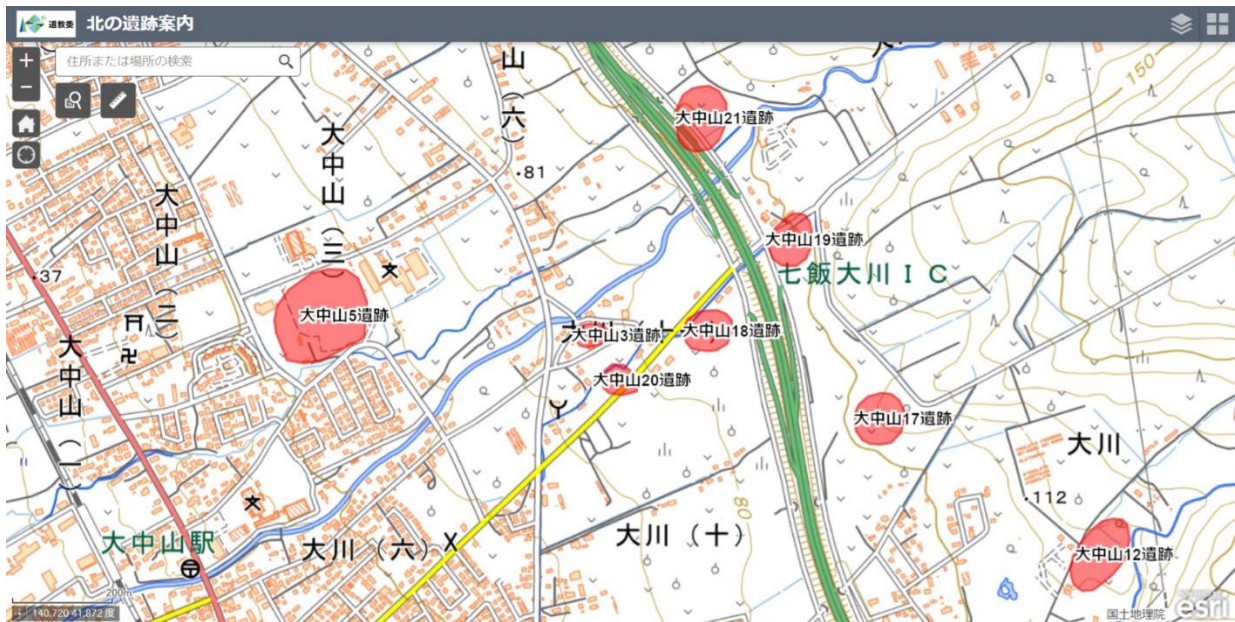
1. 調査期間 大中山 3・13 遺跡：令和 6 年 9 月 2 日（月）～9 月 12 日（木）
下添山遺跡：令和 6 年 9 月 18 日（水）～9 月 29 日（日）
【現地説明会】 大中山 3・13 遺跡 令和 6 年 9 月 8 日（日）13:00～14:30 ※大雨中止
2. 所在地 大中山 3 遺跡（七飯町大川 11 丁目 345）、大中山 13 遺跡（七飯町大川 8 丁目 406-1）
下添山遺跡（北斗市常盤 3 丁目 42）
3. 調査主体 弘前大学人文社会科学部日本考古学ゼミナール・北日本考古学研究センター
4. 調査担当 上條信彦（弘前大学人文社会科学部教授）
5. 調査目的 JSPS 科研費 23H00008 「北限の水稻農耕文化は海峡を越えたか：水稻農耕文化の拡散過程の研究」に係る学術調査
6. 宿泊 村山旅館（北海道北斗市飯生 2 丁目 4-29）
7. 交通 大中山 3・13 遺跡：新函館北斗駅下車 タクシーで約 15 分
下添山遺跡：上磯駅下車 徒歩 10 分
8. その他
 - 天候や進捗状況の状況によっては、期間の変更、入場制限をさせていただく場合がございます。
 - 発熱・せき等で体調のすぐれない方のご来跡はお控えください。

○ 連絡・問い合わせ先 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1
弘前大学人文社会科学部日本考古学ゼミナール・北日本考古学研究センター
事務担当 久保田正彦（弘前大学人文・地域研究科総務グループ）

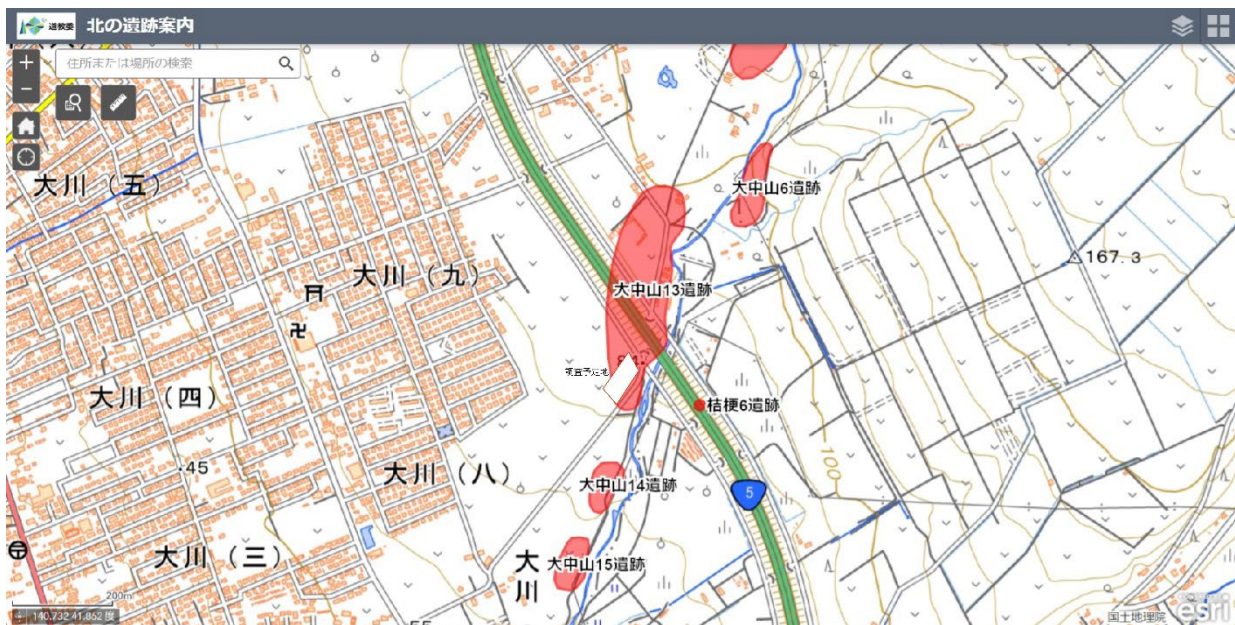
TEL0172-39-3187（直通）

メールアドレス jm3187@hirosaki-u.ac.jp

HP <https://human.hirosaki-u.ac.jp/kitanihon/>



大中山 3 遺跡



大中山 13 遺跡



下添山遺跡